

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公表番号】特表2008-535095(P2008-535095A)

【公表日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-504204(P2008-504204)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 3 8 0 D

G 06 F 17/30 1 8 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日(2009.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ファクトのソースを表示する方法であって、

1つ以上のクエリ用語を含む、ユーザにより作成されたファクトクエリを受け取ること

、
ファクトレポジトリから、前記ファクトクエリへの返答であって、1つ以上のファクト返答用語と、前記ファクトクエリの1つ以上のクエリ用語および前記返答の1つ以上のファクト返答用語を含むソースドキュメントを特定する情報と、を含む、前記ファクトクエリへの返答を特定すること、

前記返答を特定した後、前記ファクトレポジトリとは異なるドキュメントデータベース内の前記ソースドキュメントの少なくとも1つにアクセスすること、

前記ソースドキュメントの少なくとも1つに対して、前記ファクトクエリの1つ以上のクエリ用語および前記返答の1つ以上のファクト返答用語を含むスニペットを生成すること、および

前記スニペットを含む応答を生成すること、

を含み、

前記スニペット 자체が、前記ファクトクエリに答えるファクト情報を提供する、方法。

【請求項2】

前記応答を生成することは、前記ファクトクエリの前記1つ以上の用語および前記返答の前記1つ以上のファクト返答用語を前記スニペット内で強調表示することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ファクトクエリへの前記返答の表示された表現内のリンクのユーザ選択に応答することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記応答は、前記ソースドキュメントのリストを要求するためのユーザ選択可能リンクを含み、

前記方法は、前記ソースドキュメントのリストを送ることにより前記リンクのユーザ選択に応答することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記応答を生成することは、前記ソースドキュメントの少なくとも1つにおける前記1つ以上のクエリ用語および前記1つ以上のファクト返答用語の近似を判断することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

ファクトのソースを表示するシステムであって、
1つ以上のプロセッサと、
メモリと、
前記メモリ内に記憶された1つ以上のプログラムと、
を備え、
前記1つ以上のプログラムは、
1つ以上のクエリ用語を含む、ユーザにより作成されたファクトクエリを受け取るクエリレシーバと、

ファクトレポジトリから、前記ファクトクエリへの返答であって、1つ以上のファクト返答用語と、前記ファクトクエリの1つ以上のクエリ用語および前記返答の1つ以上のファクト返答用語を含むソースドキュメントを特定する情報と、を含む、前記ファクトクエリへの返答を特定する返答特定器と、

前記返答特定器が前記返答を特定した後の実行のために、前記ファクトレポジトリとは異なるドキュメントデータベース内の前記ソースドキュメントの少なくとも1つにアクセスするソースドキュメント特定器と、

前記ソースドキュメントの少なくとも1つに対して、前記ファクトクエリの1つ以上のクエリ用語および前記返答の1つ以上のファクト返答用語を含むスニペットを生成するスニペットジェネレータと、

前記スニペットを含む応答を生成する応答ジェネレータと、

を実行させる命令を含み、

前記スニペット自身が、前記ファクトクエリに答えるファクト情報を提供する、システム。

【請求項 7】

前記応答ジェネレータは、前記ファクトクエリの前記1つ以上の用語および前記返答の前記1つ以上のファクト返答用語を前記生成されたスニペット内で強調表示する命令をさらに含む、請求項6に記載のシステム。

【請求項 8】

前記応答は、前記ソースドキュメントのリストを要求するためのユーザ選択可能リンクを含み、

前記クエリレシーバは、前記ソースドキュメントのリストを送ることにより前記リンクのユーザ選択に応答する命令をさらに含む、請求項6に記載のシステム。

【請求項 9】

前記スニペットジェネレータは、前記ソースドキュメントの少なくとも1つにおける前記1つ以上のクエリ用語および前記1つ以上のファクト返答用語の近似を検出する近似検出器をさらに含む、請求項6に記載のシステム。

【請求項 10】

ファクトのソースを表示するシステムであって、
1つ以上のプロセッサと、
メモリと、
前記メモリ内に記憶された1つ以上のプログラムと、
を備え、
前記1つ以上のプログラムは、
1つ以上のクエリ用語を含む、ユーザにより作成されたファクトクエリを受け取る手段と、

ファクトレポジトリから、前記ファクトクエリへの返答であって、1つ以上のファクト

返答用語と、前記ファクトクエリの1つ以上のクエリ用語および前記返答の1つ以上のファクト返答用語を含むソースドキュメントを特定する情報と、を含む、前記ファクトクエリへの返答を特定する手段と、

前記返答を特定した後、前記ファクトレポジトリとは異なるドキュメントデータベース内の前記ソースドキュメントの少なくとも1つにアクセスする手段と、

前記ソースドキュメントの少なくとも1つに対して、前記ファクトクエリの1つ以上のクエリ用語および前記返答の1つ以上のファクト返答用語を含むスニペットを生成する手段と、

前記スニペットを含む応答を生成する手段と、

を実行させる命令を含み、

前記スニペット自体が、前記ファクトクエリに答えるファクト情報を提供する、システム。

【請求項 1 1】

コンピュータシステムと併せて使用され、コンピュータ可読記憶媒体および内部に埋め込まれたコンピュータプログラムメカニズムを備えるコンピュータプログラム製品であって、前記コンピュータプログラムメカニズムは、前記コンピュータによって実行される1つ以上のプログラムを含み、

前記1つ以上のプログラムは、

1つ以上のクエリ用語を含む、ユーザにより作成されたファクトクエリを受け取り、

ファクトレポジトリから、前記ファクトクエリへの返答であって、1つ以上のファクト返答用語と、前記ファクトクエリの1つ以上のクエリ用語および前記返答の1つ以上のファクト返答用語を含むソースドキュメントを特定する情報と、を含む、前記ファクトクエリへの返答を特定し、

前記返答を特定した後、前記ファクトレポジトリとは異なるドキュメントデータベース内の前記ソースドキュメントの少なくとも1つにアクセスし、

前記ソースドキュメントの少なくとも1つに対して、前記ファクトクエリの1つ以上のクエリ用語および前記返答の1つ以上のファクト返答用語を含むスニペットを生成し、および

前記スニペットを含む応答を生成するための命令を含み、

前記スニペット自体が、前記ファクトクエリに答えるファクト情報を提供する、コンピュータプログラム製品。

【請求項 1 2】

前記コンピュータプログラムメカニズムは、前記ファクトクエリの前記1つ以上のクエリ用語および前記返答の前記1つ以上のファクト返答用語を前記スニペット内で強調表示するための命令をさらに含む、請求項1 1に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 1 3】

前記応答は、前記ソースドキュメントのリストを要求するためのユーザ選択可能リンクを含み、

前記コンピュータプログラムメカニズムは、前記ソースドキュメントのリストを送ることにより前記リンクのユーザ選択に応答するための命令をさらに含む、請求項1 1に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 1 4】

前記スニペットを生成するための前記命令は、前記ソースドキュメントの少なくともにおける前記1つ以上のクエリ用語および前記1つ以上のファクト返答用語の近似を判断するための命令を含む、請求項1 1に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 1 5】

前記返答を特定することは、1つ以上の言葉または数を含む各ファクト返答用語を特定することを含み、

前記スニペットを生成することは、前記特定されたファクト返答用語を含む各ソースドキュメントのテキスト部分を特定することと、前記特定された各ファクト返答用語を含む

前記特定されたテキスト部分を含めるよう前記スニペットを生成することとを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項16】

前記返答特定器は、1つ以上の言葉または数を含む各ファクト返答用語を特定するよう構成され、

前記スニペットジェネレータは、前記特定されたファクト返答用語を含む各ソースドキュメントのテキスト部分を特定し、前記特定された各ファクト返答用語を含む前記特定されたテキスト部分を含めるよう前記スニペットを生成するよう構成される、請求項6に記載のシステム。

【請求項17】

前記スニペットを生成するための前記命令は、前記ファクトクエリの少なくとも1つのテキスト用語と前記返答の少なくとも1つのテキスト用語とを前記スニペットに含めるよう各ソースドキュメントからテキストを選択するための命令を含む、請求項11に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項18】

前記返答を特定するための前記命令は、1つ以上の言葉または数を含む各ファクト返答用語を特定するための命令を含み、

前記スニペットを生成するための前記命令は、前記特定されたファクト返答用語を含む各ソースドキュメントのテキスト部分を特定し、前記特定された各ファクト返答用語を含む前記特定されたテキスト部分を含めるよう前記スニペットを生成するための命令を含む、請求項11に記載のコンピュータプログラム製品。